

## 令和 7 年度 第 2 回浜田市地域公共交通活性化協議会議事録（要旨）

日時：令和 7 年 7 月 16 日（水）13：30～14：40

場所：浜田市役所 5 階全員協議会室

資料：・会議次第

- ・令和 7 年度地域公共交通活性化協議会委員名簿【資料 1】
- ・浜田市地域公共交通活性化協議会、事務局規程【資料 2】
- ・地域公共交通計画認定申請書【資料 3】
- ・令和 6 年度浜田市地域公共交通活性化協議会事業報告、決算書、会計監査報告書  
【資料 4-1、4-2、4-3】
- ・令和 7 年度浜田市地域公共交通活性化協議会事業計画（案）、予算（案）  
【資料 5-1、5-2】

### 1 会長挨拶

### 2 報告事項

- (1) 役員の選任について
- (2) 事務局規定について
- (3) 第 1 回協議会（書面審議）の結果について  
＜質疑応答＞  
質疑等なし

### 3 議題

- (1) 令和 6 年度事業報告及び決算・監査報告について  
＜質疑応答＞

#### ○委員

資料 4-1 裏面の(3)補助制度の実施①敬老福祉乗車券交付事業に関連して、それ以外に今年は来年の 2 月 28 日まで限定で、公共交通チケットの交付も実施されている。

どれぐらいの目標を立て、現在どれくらいの市民が買われたのか、教えていただきたい。

#### ○事務局

今年度に限り敬老福祉乗車券とは別に、対象者の方にお 1 人様 2 冊まで 3,000 円の乗車券を 1,000 円で販売する公共交通チケット交付事業というものを実施している。

具体的な目標数値は設定していないが、予算とすれば購入を希望される方が全員購入できるような予算立てをしているので、なるべく多くの方に利用していただければと考えている。

5 月末時点で、対象者の約 10%の方が購入されているというような状況。

例年、敬老福祉乗車券についても、全体の対象者の内、約 20% が購入されているので、そのぐらいまではいくのではないかと考えている。

#### ○委員

通常、浜田駅から広島まで片道 3,300 円かかるところ、手出しが 1,300 円となるので、非常にこれは皆さん楽しみにできる事業じゃないかなと思うが、周囲で知らなかつたという声が多いので、もう少し広報をしていただければと思う。現在は市の広報に掲載されたくらいか。

○事務局

利用期限が短いということでなかなか周知のタイミングが難しいが、これまで広報への掲載、行政連絡員会議等でアナウンスをさせていただいた。

最近も問合せ等いただいているので改めて周知をしていただいたらと思う。

○会長

他に質問等無いようでしたら、ただいまの議題（1）令和 6 年度事業報告及び決算監査報告について、承認をいただける方については、拍手お願ひいたします。

【 拍手多数 承認 】

（2）令和 7 年度事業計画及び予算について

＜質疑応答＞

○委員

今年度の事業計画中、2 の公共交通利用促進の取組の（2）利用促進へ繋がるイベント等への支援について、支援の中身と、地域にどういう案内をされているのかご説明いただきたい。

○事務局

現時点で具体的に決めているものはないが、事務局として検討しているのは、地区まちづくり推進委員会が交通を課題と思っている地域をいくつかピックアップをして、声かけをしていくとは思っている。

企画の内容として、例えば公共交通機関を使って、どこかに行ってみようみたいな企画だとか、乗り方教室だとか、そういった実際に乗ってもらうような企画っていうのをこちらの働きかけで実施できればと考えている。

そういういたイベントの中で例えばその中の乗車運賃を当協議会の方から支援させていただくようなことを考えているが、それが何人、何件になるかというところは現時点では読めないところ。

まちづくりセンターに地区サポートという事業の企画・立案をするような職員もいるので、そういうところと連携して事業をできたらと考えている。

○委員

募集要項などを作って、希望団体を募るといったことをする予定はあるのか。

○事務局

市街地の公共交通が発達しているところがある一方で、公共交通機関で遠方に行けない地域もある。声を聞きながら実施していければと思うので、まずは地域に入って、どういった企画ができるかというところを、一緒に考えていければと思っている。

○会長

委員からありましたように、今までやっていたことの繰り返しではなく新たなことを、昨年度は執行残も多かったようなので、積極的にしていただければと。

○委員

生湯地区は、まちづくり推進委員会ができていないが、何回か皆さん集まって、作ろうと盛り上がってきてているところ。その中で生湯地区を知らない住民がまだいるので、多陀寺の方からバスに乗って回ってみたらというような企画を考えている。こういう企画もまちづくり推進委員会ができないと対象とならないのか。

○事務局

一義的には地区まちづくり推進委員会が浜田市としては地域の課題を解決するための地域組織という立て付けがあると考えている。一方で、個別に困ったところがあるといった具体的な例があれば、そこはそこで考えられたら。決まった要綱があって、こういう補助金がありますというようなものではないので、もし課題があるということであれば、個別の相談の中で考えていきたい。

ただし、あくまでイメージしているのは、例えば公共交通を利用しましょうとか、そういうふた、意味での活動かなと思っている。公共交通の利用促進を目的としたものであれば、活用していきたいと考えている。

○委員

この4月から初めて浜田の方に赴任した。

地元の方が利用するのもさることながら、知らない土地では公共交通機関でどこに行けるのかわからず、観光客とか他の地域から来た人が、目的地・ランドマークへどこを経由して行くのか、わからなくて怖くて乗れないといったところがある。

主要な目的地だったら、どのバスに乗ったらここを通りますよといった表示をしていただけすると外部の人間は利用しやすいかなと思っており、そういうところへ予算を充てることはできるのか、伺いたい。

○会長

以前、市内のバスマップを作成されていたと思うが。

○事務局

バスマップについては現在も随時修正しながら使用しており、市のホームページ等に掲載していたり、転入手続きをされる方へ総合窓口から配布している。

こちらは今まで当協議会の予算ではなく、市の予算の方で対応していた。

皆さんのご了解が得られれば、協議会予算から支出することもありだとは思うが、まずは市の方の予算の方で実施していこうと思う。

まずはバスマップの周知していきたい。

○委員

浜田駅のバスロータリーなどに何番のバスに乗ったらどこへいく、というのがわかる様なものがあればいいのかなと思う。

○事務局

石見交通とも協力しながら、わかりやすいような表示も考えていきたい。

○委員

先ほど広報的な話をされていたがホームページよりもLINEを使った方が便利だったりするの

で、浜田市の公式LINEをもっと充実してもらいたい。Bot機能を使って、ここからここに行きたいと経路を入力して、Bot返信があるといった機能の導入に取組んでみるというのはいかがか。

○事務局

今年度から市にDX推進課という部署が新設された。公式LINEもこちらの所管だが、まだなかなか連携ができない部分はあるので、ご意見としていただいて検討していきたい。

○委員

3 地域公共交通サービスの調査・検討について、先進技術活用の部分、浜田市として、企業と連携して、試験導入していくといった方向で考えることはないか。

資料を見る限りだと、技術として成熟してきたときに、やっと浜田市として動いていくものを検討するようなイメージに見える。そうではなく、企業とタッグを組んで進めていくとった方針をとることはないか。

○事務局

昨年度実績報告の際に先進地視察についてご説明したところ。

自治体によっては、特に山間部ではAIを導入したところで必ずしも有効に機能しているところばかりでもなかった。

AIデマンドタクシーを例にすると、複数の予約を受け付けて、効率的な配車を決める部分でAIが機能するはずが、実際には利用者が少なくて、あまり効果を發揮していない。

コストは確実に上昇するが、それに対する効果というのがなかなか見えないところがあるので、そもそも浜田市で導入するのが有効なのかどうかというところも含めて広く調査をしてみたい。

それから、無人運転について、これは乗務員不足には確実に、有効なものかとは思う。

ただ、まだまだ事例が少ないと、実証実験をやっているところもすごく短い距離であったり、街中でやれば有効とは思うが、山間部ではなかなか使えないなど、まだまだ課題が多いところがある、現在は浜田市がどういった形のものを導入していくべきか、情報収集をしている段階。

○委員

ご説明されたとおり、山間部は確かにまだちょっと難があると思う。

ただ街中では、有効なんじゃないかなと。人手不足という問題は確かにないので、街中は無人にして、中山間地の方のフォローが必要な方に人をあてがうといったようなやり方も考えていいかなと思うので、前向きに検討していただけると嬉しいなど。

○会長

それでは他に質問等無いようでしたら、ただいまの議題（2）令和7年度の事業計画及び予算について、承認をいただける方については、拍手お願いいたします。

【 拍手多数 承認 】

○会長

それでは、委員の皆さんから、今日の議題以外でもご意見等ありましたらどうぞ。

○委員

地域の公共交通について、利用推進はもちろんのことですけども、やはり運転手の確保が最大の課題かなと感じている。いくら利用推進しても、運転手がいないためにバスが動かない、ということが無いよう企業として頑張っていただきたい。

それから、波佐線も土日祝ダイヤができ、減便のようなかつこうになった。波佐線が減便になると、周布の営業所から出てきて浜田駅、長見、雲城を通ってくるので、それ等の地域全部に影響がある。地域の声をもっと聞いていただきたい

利用促進については、何年か前にされていたフリーバス券、昨年度の協議会で運転手不足で再度実施するのは難しいと回答があった。

地域限定ででも実施してもらって、普段使わない層への利用促進など頑張っていただければと思う。

また、スクールバス、生活路線バスともに見ている限りだと大変ベテランな方が運転されているので、もう少し若い方が運転されるようになればいいなと感じている。

○事務局

運転手確保について、国、県、今年から市も、免許取得にかかる費用の補助事業を実施しており、また、既に免許を保有している方を雇用されたときの助成など、公共的な面での助成事業の支援体制は構築している。そういう側面で路線を確保するための運転者確保については、市としても、応援ができていければと考えている。

○委員

北広島町のデマンドバスについての情報はもっているのか。

○事務局

AIを使用したデマンドバスを実施されている、ということについては承知している。

○委員

昔から上手に回されているような印象があり、利用者も多いようなので、勉強していただければ。

○会長

また調べてみてもらえば。

○委員

我々の団体が公共交通の労働組合ということで、先ほど運転士不足の件がありましたので、その件について一言お伝えしたい。若いドライバーが定着しないということについて、我々の業務の特性上、朝の通勤時間帯に仕事をして、昼は、比較的落ち着いている中でご高齢の方の通院等がメインで、時間に合わせて出てきてくださるということもあり、朝晩の通勤時間帯、非常に需要が高いというところ。

子育て世代の運転士が朝晩家庭にいないというのは、配偶者、家庭の負担が、非常に大きく、若いドライバーが定着しないことにつながっている。

私個人としては、松江市営バスのドライバーをしているが、お金を使うことだけではなく、職場全体で、そういう人たちを支援しようということで、子育て世代は土日祝お休みしようという職場づくりをしており、女性職員の比率も1割を超えるが、若い方も他社と比べると結構多い

職場になって来てはいる。

地方になればなるほど、住民の構成自体が若い人が少ないので、難しいところではあるが。運転士不足ということで先ほどおっしゃったみたいに若いドライバーがなかなか定着しないという理由はそこにあるということを申し上げたいということと、そういったところに対しているいろできることがあればやってあげて欲しいなというところ。

もう1つ、AI デマンドとか自動運転と、今後非常に注目するべきところもある。

ただ、先ほど庄司委員がおっしゃっていたように、駅の案内などは、比較的お金がかからないところなので、その辺りをしっかり研究していただけたらなと思う。

バスの行き先案内については終点のみを表示して来るが、終点は結構マイナーなところが多く、どこへ向かっていくかわかりにくい。神戸市交通局では、その沿線の終点近くのランドマークとか、商業施設とかを表示してしまうという対応をしている。姫路市の駅前等では行き先案内版等は、民間業者の方がわかりやすいようなものを作っていたり、姫路城に行くものは、横断幕にピクトグラムがあったりと努力しておられるので、そういうお金はかかるないけども、わかりやすいようなものも研究していただけたらと。

○委員

数週間前から旭浜田路線を大きなバスにしていただいた。

それまでは満席になることもあったが、大きいバスにしていただいて、学生さんはバスの中で勉強したりと、そういう空間ができて非常に良くなった、本当にありがとうございました。

一点お願いしたいのが、佐野・後野間の路肩から路肩法面については草が刈ってあるものの、木の枝が道路中央部ぐらいまで出ており、窓ガラスや天井に当たるところが何ヶ所もある。運転士さんの視界も悪いし、安全走行に支障があると思うので、切っていただければなと。

○委員

以前から市に要望しているが、県道だということで市では手がつけられないと聞いている。

この区間は幅員が狭い1車線になっている。

枝が垂れ下がってくると、それを避けるために車体を振ることになり、カーブなどで対向車が来たときに避けることが難しい。特に冬場は雪が降って枝が落ちてくると目線の方まで、枝が落ちてくることもあり、かなり危険を感じるので、早めに対応していただきたい。

○会長

県道管理の方でよろしくお願いしたい。

そのほか、ないようなので、いただいたご意見はまた参考にさせていただき、今年度も進めてまいりたい。それでは進行を事務局にお返しする。

○事務局

本日いただいた意見を今後の業務の中で、改善できる部分については、早急に改善をし、また、検討して参りたいので、ご協力のほどよろしくお願いしたい。

以上をもちまして令和7年度第2回浜田市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。

本日お忙しい中ご参加をいただきましてありがとうございました。

引き続きよろしくお願ひします。